

News

日本農芸化学会 関西支部例会 第502回 講演会

2月3日(土)、京都大学百周年時計台記念館において、日本農芸化学会関西支部第502回講演会が開催された。竹村有裕美(M2)が参加し、口頭発表を行った。残念ながら水野雅史教授が同行できなかったため、少し心細かったようである。

発表を聞きに行った藤井美凧(M1)と米倉裕貴(M1)によると、会場は厳粛な雰囲気であったが、竹村(M2)は落ち着いた様子で、非常にまとまった丁寧な受け答えをしていたそう。

ここで、発表を終えた竹村(M2)からコメント。

二回目の学会でしたが、思っていたより大きな会場で緊張しました。賞を逃したのは悔しいですが、自分の研究成果を多くの方々の前で発表できたことは良い経験になりました。

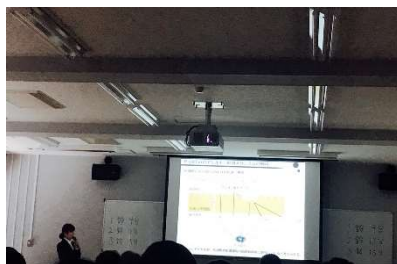
修士論文発表会

2月16日(金)、農学研究科生命機能科学専攻応用生命化学講座の修士論文発表会が行われた。本研究室からは竹村有裕美が参加し、応用生命化学講座の先生方の前で2年間の修士課程の集大成を発表した。ここ数か月間、研究室で夜遅くまで黙々と修論を執筆していた姿が印象的である。修論提出後も、発表会直前まで実験を重ねていたが、その成果はいかに。

【修論タイトル】

竹村有裕美

Effects of dietary glucosylceramide from pineapples on Type I hypersensitivity



腸上皮におけるグルコシルセラミドの代謝・吸収機構について説明する竹村(M2)。非常に落ち着いた様子で発表をこなしていた。

竹村さん

修論 発表お疲れ様でした！！

論文・学会発表

日本農芸化学会関西支部例会
第502回 講演会

京都大学百周年時計台記念館
2018年2月3日(土)

○竹村有裕美、大戸信明、桑原浩誠、水野雅史「パイナップル果実由来グルコシルセラミドのアレルギー抑制効果とLMIR3の関与」講演要旨集 P.6

編集後記

2月の神戸は非常に厳しい寒さが続きました。M2は修士論文、B4は卒業論文に追われて慌ただしい日々が続きました。竹村さんの分厚い修論を見て、大学院も今まで以上に頑張ろう、と身の引き締まる思いがしました。今月は写真がほとんど無かったので、卒論提出後のB4の写真を載せたいと思います。



左から森田温子(B4)、丸岡祐子(B4)、田代純輝(B4)。

来月は卒論発表です。しっかり準備して臨みたいと思います。

丸岡 祐子(B4)